

令和7年(2025年)7月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2025年7月 量 (トン)	2025年7月 平均単価 (円)	前年同月比 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道産、青森県産中心の入荷でした。干ばつ・高温の影響により、小玉傾向となりました。全体的に遅れた入荷となったため、数量はやや減少、平均単価は高く推移しました。	441	231	95%	118%
2		キャベツ	群馬県(嬬恋)産を中心の入荷でした。前年より遅れた入荷となったため、数量は減少、平均単価はやや高く推移しました。	622	89	88%	109%
3		トマト	高温・干ばつの影響により、数量が不安定となりました。また、台風の影響で関東へ入荷なしの日もあったため、前年に比べて数量はやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	414	413	97%	117%
4		なす	潤沢な入荷となったため、数量はかなり増加しました。平均単価は平年並みに推移しました。	151	403	131%	98%
5		たまねぎ	香川・兵庫・佐賀・和歌山県産中心の入荷でした。数量は前年を大きく上回りましたが、高温等の影響により販売状況が悪く、単価安となりました。数量はかなり増加、平均単価はかなり安く推移しました。	407	131	144%	66%
6	果実	西瓜	猛暑の影響により西瓜の需要が増加しました。東北・関東産が生育遅れや小玉傾向でやや少なかったが、全体としては数量は平年並み、平均単価は高く推移しました。	796	293	101%	124%
7		メロン	数量は平年並み、平均単価は高く推移しました。	156	537	99%	114%
8		桃	高温・干ばつの影響で、生育遅れ・小玉傾向等が生じ、入荷減となりました。数量はかなり減少、平均単価はかなり高く推移しました。	180	937	73%	121%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上